

科目名	スピーチ	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)	
			経済	□必修 ■選択
			法律・観光	□必修 ■選択
英文表記	Speech	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	わたひき かおる	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	綿引 かおる	修得単位	2単位	
授業のテーマ	話すこと・スピーチの技能向上と、思考力・表現力の向上			
授業概要	自己表現やコミュニケーションに不可欠な「話すこと・スピーチ」の技能向上を図る。話し方やスピーチに必要な要素、方法などについて学んだ後、実際に会話・対話・スピーチを行う。			
到達目標	自分の考えや意見を、臆せず理路整然と効果的に伝えることができるようになる。思考力、表現力などを向上できる。			
授業時間外の学習	世の中の出来事に関心を持ち、それに関して自分はどう思うかを必ず考えること。身近な事柄でよいので講義時に話(1分スピーチ)ができるように話題を見つけておくこと。			
履修条件	発表や話す機会が毎回あるので、不慣れ・苦手でも構わないので教場で発表することに真摯に臨むこと。			
授業計画				
第1回	話してみよう (1分スピーチに挑戦)			
第2回	情報や意見の伝え方 (情報や意見を伝えるために必要な要素を学ぶ)			
第3回	発声・発音 (発声実技)			
第4回	言葉遣い (正しく分かりやすい言葉遣いを学ぶ)			
第5回	表現実習 (与えられたテーマについて表現し伝える)			
第6回	自分の経験に関するスピーチ① (作成)			
第7回	自分の経験に関するスピーチ② (第6回で作成したものを発表する。ビデオ撮影し、発表後に再生)			
第8回	時事問題に関するスピーチ① (作成)			
第9回	時事問題に関するスピーチ② (第8回で作成したものを発表する。ビデオ撮影し、発表後に再生)			
第10回	話を聴き出す① (話すことと聴くことの実習)			
第11回	話を聴き出す② (第10回で相手から聴き出した内容をまとめて発表する。ビデオ撮影し、発表後に再生)			
第12回	対話① (与えられたテーマについてグループ内で自分の考えを話し合う)			
第13回	対話② (第12回で話し合った結果を発表する)			
第14回	課題スピーチ発表準備 (作成)			
第15回	課題スピーチ発表 (第14回で作成したものを発表する。ビデオ撮影し、発表後に再生)			
第16回	定期試験			
テキスト	プリントを配布			

参考文献・資料	プリントを配布
成績評価の方法	第15回の課題スピーチ発表（50%）・第16回の筆記試験（50%） 上記評価項目をもとにして総合的に判断します。 出席回数が規定に満たない場合は試験を受けることができません。
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	非常勤のため受講者にはメールなどで対応します。メールアドレスは講義時に伝えます。
学生へのメッセージ	話すことは、学習や経験を積むことでどんどん技能向上します。 公的に話す場合はもちろん、普段の生活でも、話す力を身につけておくことは必要です。 積極的な受講を期待しています。